

ガ使用セラレタ、此ノ如ク三好教授ハ永イ間常ニ諄々ト學生ヲ指導セラレタノデ既ニ前述ノ様ニ同教授ノ下カラ世ニ出タ學者モ尠ナクナカッタ事ハ全ク同教授ノ久シク其職ニ居ラレタ好記念デアルト謂ツテモヨイ三好博士ハ大正十三年ニ大學ノ教授停年制ノ規定ニ循ヒ多年勤メタ教授ノ職ヲ退カレ今ハ内務省ノ史蹟名勝天然紀念物保存ノ爲メニ專ラ其方面ニ全力ヲ傾注シテ居ラレル、爲メニ同博士ノ盡力ニヨツテ邦内諸州ノ草木、森林並ニ植物生育地ナドガ同省ノ指定保護トナリ永久且安全ニ後世ニ遺ル様ニナツタモノ、多イノハ誠ニ喜バシイ次第デアルト我皇國ノ爲メニ祝サネバナルマイ

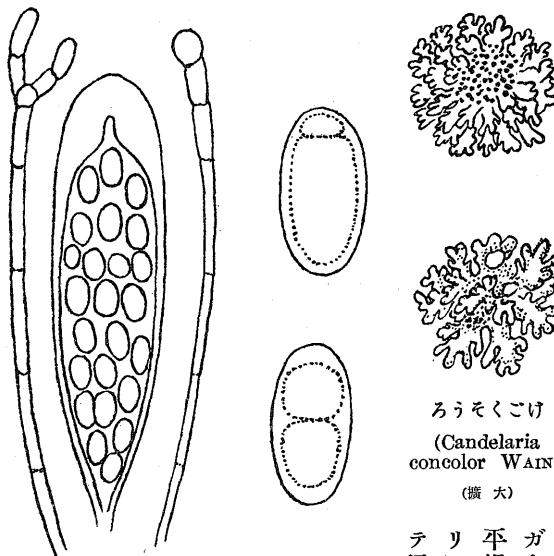
博士ハ美濃ノ國、岩村ノ出身デ夙ニ秀才ノ聲ガアツタ、明治二十二年七月ニ大學ヲ卒業セラレ今年壽ヲ享クル六十有八歳尙ホ矍鑠トシテ壯者ヲ凌グノ慨ガアル、君ハ文筆ニ長ジ從テ著書ガ頗ル多イコトハ疾ク世人ノ熟知スル通リデ其レガ皆我ガ學界ヲ裨益シタコトハ勝ゲテ算フベカラザル程デアル、私ハ我邦植物生理學ノ開山ナル博士ノ何時マデモ健康ニアラレンコトヲ祈ツテ止マナイ

○蓄軒獨語(其二十六)

蓄軒 朝比奈彦

○ろうそくごけ

本邦各地ノ低地ヨリ高山ニ至ルマデ殆ド隨處ニ樹皮ヤ岩面ニ鮮黃色乃至黃綠色ヲ呈スル地衣ヲ見ルガソレハ大抵ノ場合ろうそくごけデアル、此地衣ハ寧ロ小形ニ屬スルモノデ其一箇體ハ略ニ圓形ニ廣ガレル黃色葉狀體ヲナシ徑一cm以内デアルガ時ニハ二三cmニ達スルコトモアル、周邊ハ深ク瓣裂シ各瓣片ガ更ニ細裂シ又ハ波狀ノ喰込ミヲ持テ居リ邊緣ニハ細顆粒狀ノ裂芽(Isidia)ヲ着ケ殊ニ中心部ニテハ全體ガ裂芽ニ化シテ居ル裏面ハ白色デ少數ノ白色ノ擬根ヲ生ジテ居ル、子器ハ甚稀デ從來予ノ所持シテ居ル標本中ニ信州木曾ノ上松產岩石着



ろうそくごけ (Candelaria concolor WAIN.)

Ascus $70 \times 20\mu$
Spor. $9 \times 6\mu$

生ノモノガ少數ノ子器ヲ着ケテ居ツタガ近頃滿洲旅行ノ際安奉線沿線五龍背ノ旅館ノ庭デ柳樹ニ着生シテ居タモノハ多數ノ子器ヲ着ケテ居タノデ惜氣モナク検査スルコトガデキタ、充分成長シタ子器ハ圓板形デ葉體上ニ平座シ經一一一 mm 、緣ハ地衣體ト同一 (Thalline margin) デアルガ多クハ裂芽ニ化シテ居ル、盤ハ葉體ト殆ド同色デ蠟樣ノ觀アリ平坦デアル、子器ヲ縱斷スルト子囊上層ハ黃色ニ分ルガ「アルカリ」ノ爲ニ變色セズ又子囊下層ハ白色デ其下位ニ綠顆體ヲ散布シテ居ル絲狀體ハ單一又ハ稀ニ分岐シ子囊ハ棍棒狀デ頂部肥厚シニ多數ノ胞子ヲ納レテ居ル、各胞子ハ無色橢圓形單室デアルガ往々二箇ノ油滴ヲ含デ居ル爲ニ二室ト誤認ナル、コトガアル此地衣ノ學名ハ

Candelaria concolor (Dicks.) WAIN.

デアツテ和名ノろうそくごけハ此屬名ノ直譯デ故安田理學士著植物學各論(隱花部)ニ出テ居ル、又此ノ屬名ノ Candelaria ハ林娜氏ノ Lichen candelarius Linn. ナリ出タルモノデスミス氏 English Botany, Vol. XI. p. 6. ナルト瑞典デハ此地衣ノ色素ヲ以テ祭典ニ使用スル蠟燭ヲ黃色ニ染メタノダソウダ右ノ Candelaria concolor WAIN. ガ本邦ニ產スル

トシテ始メテ現ハシ次デ MUELLER ARG. ガ Nuovo Giornale botanico ital. Vol. XXIII. p. 120 (1891). ト書タキ附錄シテ CHAMBERLAIN ノ採集品ヲ納メタ中ニ一種ノ同屬地衣 *Candelaria fibrosa* MUELL. ARG. ヲ舉ゲテ居ルガ HUE ノ記載ヲ讀ンデモ兩者ハ互ニ酷似シ後者ガ子器ノ下側ニ白色ノ刺毛ヲ帶ビテ居ルノガ違フ位アルノデ恐ラク無子器ノモノデハ區別ガ難カシイト思フ、地方在住ノ士ニシテ有子器ノ本地衣ヲ採ラレタ方ハ御割愛ヲ希フノデアル

ばくちのき (*Prunus macrophylla* SIEB. ET ZUCC.)

ノ栽培

○薬木ばくちのき

薬學博士 創米達夫

ばくちのきハ本邦暖地ニ生ズル薔薇科喬木デ其葉ヲ水蒸氣ト共ニ蒸溜シ、重要ナル醫藥ノ一デアル所ノばくち水 *Aqua Pruni macrophyllae* ヲ製造スルニ用ヒル、ばくちのあくハ如何ニモ不粹ナ名デアルガ之ハ多分此木ノ老幹ガ枹皮漸次剥脱スルヨリバクチ打チガ衣服ヲ脱グニ例ヘタモノデアラウ九州南部デハ方言さるすべりトイフ枹皮剝離後樹幹滑澤トナルニヨル、又之ヲびらんじゆトイフ地方モアル是レハ美櫛樹ノ意力此名前ハ一番優美デアルカラ藥品ノばくち